

令和3年度 第3回技術研修会のご案内

日 時	令和3年11月11日(木) 13:30～16:30
会 場	アバンセホール(佐賀県立生涯学習センター) (佐賀市天神3丁目2-11 TEL 0952-26-0011)
主 催	公益財団法人 佐賀県建設技術支援機構
後 援	佐賀県、(一社)佐賀県建設業協会、(一社)佐賀県県土づくりコンサルタント協会
テ ー マ	「佐賀における低平地研究の最前線」
研修項目	(1) 13:40～15:00 「立地適正化計画の策定状況とその課題 ～住環境と防災・減災の視点から～」 佐賀大学理工学部理工学科(都市工学部門) 准教授 猪八重 拓郎 氏 <p>2014年に立地適正化計画制度が創設され、現在全国の398都市が計画を作成・公表しています。しかしながら、居住誘導区域の設定規模や災害リスクの観点から、少なからず改善の余地のあるケースも散見されます。本講演では、都市計画における土地利用の規制・誘導の基本的な仕組みを説明するとともに、具体的な立地適正化計画の策定事例をあげながら本制度に基づくより望ましい土地利用コントロールの在り方について言及します。</p>
	(2) 15:10～16:30 「気候変動に伴う河川流域の水不足問題と技術の活用」 佐賀大学理工学部理工学科(都市工学部門) 准教授 ウォンタナーズントーン ナルモン 氏 <p>近年、気候変動に伴う洪水災害のリスクが懸念されているものの、降雨量の減少による渇水災害のリスクも年々増加傾向にあります。河川流域の水不足問題の対策として「必要な水量の確保」と「好ましい水質の保全」が挙げられます。本講演では、上流に建設されたダム貯水池から下流に広がる低平地までの水不足問題を概説し、渇水対策を支える技術を紹介します。海外事例として母国であるタイの低平地と佐賀低平地の水問題の違いも紹介します。</p>
対 象 者	地方公共団体等職員、建設事業関係者(県内優先)、一般の方(大学生以上)
定 員	150名
参 加 料	無 料
申込方法	当機構のホームページ(https://www.sagacat.or.jp/gijyutsukensyuu.html)よりお申し込みください。 1社につき2名 まで受け付けます。 <u>『研修情報』→『技術研修会』→『令和3年度第3回技術研修会申込』をクリック!</u>
申込期間	令和3年10月18日(月)14:00～令和3年10月29日(金)17:00 (定員になり次第締め切り。定員に満たない場合は次の期間に追加募集を実施。) 令和3年11月1日(月)14:00～令和3年11月4日(木)17:00 予定
問合せ先	(公財)佐賀県建設技術支援機構 技術部 企画情報課 TEL 0952-97-5596
そ の 他	(1)車でご来場される場合は、会場敷地内の駐車場をご利用下さい。 (2)座席は全席指定席となります。

※本研修会は、(一社)全国土木施工管理技士会連合会CPDS、(一社)建設コンサルタント協会CPDの認定プログラムに申請しています。